



## 平和とくらしを守る北九州市民の会

〒803-0817 小倉北区田町 13-21 田町ビル 3F  
TEL 093-592-5000 FAX 093-571-4346

北九州市民の会

検索



WEB : <http://siminnokai.com>  
e-mail : [koe@siminnokai.com](mailto:koe@siminnokai.com)

あれから1年

## 国際法違反の明確な侵略戦争 ロシアはウクライナから撤退せよ！



2月24日(金)、ロシアがウクライナを侵略して1年、「さよなら原発北九州連絡会」と「平和をあきらめない北九州ネット」は、共催による小倉駅前街宣を取り組みました。

503回目を迎えた「さよなら原発金曜行動」は、前半30分原発廃炉をアピールしました。

今回のロシア軍の攻撃により、原発および核関連施設は、容易に攻撃・破壊され、原発の防衛は困難です。原発は、戦争を想定して設計されていません。原発を並べての戦争は、破滅への道です。岸田政権が真っ先にやらなければならないことは、すべての原発を即時停止することです。

「平和ネット」も後半30分訴えました。1年たつてひたすら増えるばかりの双方の犠牲者、しかし、紛争解決のきざしすら見えません。武力対武力では「核戦争」の危機まで招きます。今こそ、戦争に反対する世界中の市民と連帯して侵略戦争を止めよう！

### 2023 さよなら原発！ 3.19 北九州集会

3月19日(日) 勝山公園(図書館横)  
13:00 オープニング  
14:10 パレード出発

### 「平和をあきらめない北九州ネット」 第8回総会と記念講演

2月19日(日)、「平和をあきらめない北九州ネット」が、第8回総会と記念講演を開催しました。

第8回総会では、以下の3点が報告・討議され承認されました。

第1に、2022年の情勢とわたしたちの活動を振り返る。

第2に、2022年の平和ネットの活動総括  
第3に、2023年運動方針案

記念講演は、参議院議員の高良鉄美氏が「台湾有事？ 沖縄と平和憲法」と題して、詳細な資料を基に深刻な事態を解明しました。

特別報告として、築上町町議会議員の宗晶子氏が「航空自衛隊築城基地を抱える築上町と築城基地の現状」について語られました。



### 新婦人こくろ北ニュース No.598より 義務教育は無償と…でも実際は 私費負担もたくさんあります

北九州市公立中学校冬の女子制服は35520円、夏は17380円スカートかズボンが選べます。ポロシャツ正規で1500円・・・体操服夏冬とシューズ合わせて22340円、サブバック1200円、給食費5400円×11ヶ月、PTA会費6600円、交友会費2400円、学年費15433円。中学に入ると「諸費」の高さにビックリします。

これ以外にも修学旅行費も必要になります。北九州市の公立小学校には制服はありませんが、ランドセル・体操着・絵の具セット・習字セット・裁縫道具・鍵盤ハーモニカ・文具類・給食費などが私費負担です。

憲法26条2項「義務教育はこれを無償とする」とうたっていますが、保護者負担も多くあります。

今度の北九州市長選挙で永田浩一市長候補のくらし応援政策では、子育て支援3つのゼロ(医療費完全ゼロ・学校給食費ゼロ・子どもの国保料ゼロ)。当選には及びませんでした。若い子育てパパ・ママには届きました。

昨年6月、新婦人7支部長名で北九州市議会議長あてに給食費を無償にして下さいと要請しています。是非、新市長に子育て支援を市として実行、また、市として国へ子育てにもっとお金をかけてほしいと要請もお願いしましょう。



2月6日、市長選挙のお礼宣伝で西小倉駅前で挨拶する永田浩一さん

### 2023平和のための戦争展 記念講演は伊藤千尋さん



28回目となる「2023 平和のための戦争展 in 北九州」は2023年8月19日(土)、20日(日)に八幡西区の黒崎コムシティで開催されることが決まりました。また記念講演は朝日新聞元記者のジャーナリスト、伊藤千尋さんがおこなうことも決定しました。2月22日の第1回実行委員会で報告されました。

同委員会では、今年の戦争展メッセージや企画案などについても意見交換しました。

次回の委員会は3月22日に市立生涯学習総合センターで開催される予定です。

### 第9回北九州憲法共同センター総会開かれる 危険な日米軍事同盟 見直し必要

3月4日、市立生涯学習総合センター3階ホールで、第9回北九州憲法共同センター総会が開かれました。記念講演は、福岡大・城野一憲氏が「安保3文書改訂と立憲主義、平和主義」と題して行いました。参加者は50名でした。総会では、北九州憲法共同センター代表の前田憲徳弁護士が、一年間の活動総括、新年度の運動方針案、財政議案を一括提案しました。運動方針案など、すべての議案は、満場一致で採択されました。

記念講演は、以下のような内容でした。城野氏は、まず、岸田政権が出してきた「安保3文書」を三つのキーワード【抑止、統合、理解】を示して解説しました。

「抑止」では、存立危機事態、になったとすれば、相手国に対して武力行使ができる。実際には、米軍の判断になる。この折反撃しない判断になる時もある。

「統合」では、自衛隊には、統合幕僚長と統合司令官両方が置かれることになる。統合幕僚長は、防衛大臣の助言を行い、自衛隊の指揮は「統合司令官」が行うことになる。「ACM」(同盟調整メカニズム)とは、米軍と自衛隊の共同行動を平時から”統一”していくシステム。日本有事となった時、自衛隊は、米軍の指揮下に入り行動することになる。自衛隊の装備も、米軍仕様となり、動きやすい軍隊となって機能するようになってきている。

「理解」では、これまでの日本政府とアメリカとの共同の理解が、いつの間にか、国民の理解へとされている。安全保障の変化を国民は理解させられてきているように見える。今後、国内所得の2%を軍事費に使い、日米軍事一体化が政府方針となる。

今まで、世界が見ていた「日本は平和国家」というイメージが岸田政権によって変えられようとしている。国民は、この動きを軽々しく支持すべきでない。政府の防衛力増強の動きは、マスコミも動員し、大量の税金を投入し、国民を「理解」させてきた。国民は当初の『受け入れられない』という状況から「仕方ない」という感覚状況になり、黙る。しかし、このままでは日本は大変なことになる。日米の軍事関係を、国民に正確に認識させることが必要だ。「今、政府の軍事重視の方向は、大変危険な方向に行きつつある。そのことを国民が自覚し行動することが求められている」と結びました。

### どうなる?どうする! 八幡東区の「まちづくり」

3月26日(日)、「八幡市民会館の活用を求める連絡会」の主催で、八幡東区の「まちづくり」を考える集いがレインポープラザでありました。プログラムは、以下です。

第1に、経過報告と記録冊子完成報告、加来浩佑さん(元八幡市民会館と八幡図書館の存続問題を考える会副代表)の報告、竹下秀俊さん(八幡市民会館の活用を求める連絡会代表)の報告

第2に、これららのまちづくりを考える意見発表:能美はるみさん(門司区民の会事務局長)、山隈玄さん(元北九州市職員)、前園廣幸さん(北九州市の文化財を守る会理事)

第3に、フロアからの発言・意見交流では10名の方々から、熱のこもった発言がありました。これからの八幡東区を「魅力あるまち」にするにはどうすればよいか、「連絡会」で検討していくことになります。次回連絡会は、4月18日(火)13:30から大谷市民センターで開催されます。



### 国際女性デー 世界各地で 命守れとデモ トルコ

3月8日の「国際女性デー」に合わせ、世界各地でデモ行進や集会が行われ、女性の権利擁護を訴えました。(しんぶん赤旗より)

【イスタンブール=秋山豊】トルコのイスタンブールで8日、女性の権利向上を求めるデモが行われました。女性とともに性的少数者、男性もデモに参加し、市内の一角にある通りを埋め尽くして「女性に自由を」「家長制を打ち破ろう」と声を上げました。

通りは参加者でいっぱい、歩くのがやっとです。プラカードと旗を持った参加者の歓声とホイッスルの音が響き、自分の声が聞こえにくくなるほどの熱気です。

(写真)8日、イスタンブールで行われたデモで「家長制を打ち破ろう」「女性に自由を」と訴える人びと(秋山豊撮影)



参加者は笑顔で、仲間と肩を組んだり、こぶしをあげたりして跳びはねながらスローガンを唱和。「女性であることは何て素晴らしいのだろう」と書いたプラカードもありました。

(以下は藤本修子さん FB より)

3月12日、日曜昼下がり。JR小倉駅ペDESTリアンデッキでNGO新日本婦人の会が中心になった「国際女性デー」実行委員会主催の小倉集会所が開催された。足元にはミモザの花籠を置き、腕に黄色のリボンを巻き市民にビラを配った。世界中の女たちは祖母から母、母から自分へ「宿題」を出され続けた。男女平等の世界を切り拓くために女性への参政権を獲得し、自由闊達に意見を述べる権利を持つこと、女であることへのあらゆる差別撤廃を求めた人権問題の基本の「き」の宿題だ。1917年のロシア革命時、女性たちは権利獲得に奔走した。同時期、イギリスでも米国でも女たちは闘っていた。自らの生命を掛けて。日本の女性参政権は戦後、というと驚く若者は少なくない。女性の参政権を求め戦前、女たちは逮捕され拷問された歴史がある。産休、育休制度もその歴史の延長で先人、先輩らが闘わねば得る事ができなかった。1977年国連は3月8日を女性への差別撤廃、平等と活躍を支持する記念日にした。男にこんな運動はない。何故ならば為政者らの自分の身を守る道具として男女差別を利用したからだといっても過言ではない。21世紀。これだけ情報ツールが発達して尚、為政者は男女の「性差」で国をコントロールしようとしている。多様性の前にある人権!万歳!国際女性デー。

### 川内原発の60年運転を許すな! さよなら原発! 3.19北九州集会

3月19日(日)、「さよなら原発! 3.19北九州集会」が開催されました。好天気にめぐまれました。オープニングは北九州うたごえ連絡会のコーラス。棚次奎介代表世話人の主催者挨拶のあと、深江守事務局長が基調報告で、原発を直ちに廃炉にすべきことを切々と訴えました。基調講演は「川内原発の60年運転を許すな!鹿児島現地からの報告」を向原祥隆氏(ストップ川内原発!3.11鹿児島実行委員会共同代表)が、元気に表明された。集会宣言をして、小倉駅までパレードし、市民にアピールしました。

原発いらない! 再稼働反対  
原発いらない! 命が大事  
原発いらない! 電気は足りてる

(以下は、竹内俊一さんのFBからです)

今日は、さよなら原発3・19北九州集会の日。僕の仕事は音響担当。個人的には兼撮影(^.^;

原発再稼働に大きく舵を切った岸田政権だけど、原発政策でうまくやれていることは一つもない。やっぱり原発は廃炉以外にはないです。今日のゲストは、ストップ川内原発!3・11鹿児島実行委員会共同代表の向原祥隆さん。向原さんらは最近「川内原発20年延長を問う県民投票準備会」を発足させ、九電川内原発の運転延長の是非を問う住民投票の実現を目指す予定です。鹿児島県においても原発がどれほど自然界を破壊しているかについても詳しく触れていました。岸田内閣の非常識を、市民の常識で駆逐することが必要ですが、市民の声を大きく発して、世間を覚醒させることが必要です。写真を撮りながら、参加者数ある程度カウントしていましたが、500名+恐竜1(笑)は決して盛りすぎではない数でした。でもあれね、やっぱ3・19でなくて3・11にこだわりたいね。

